

桑野協立病院

入院病棟機能のご紹介

一般病棟（21床）

病気の発症とともに急激に状態が悪化し、**医療処置**（酸素や24時間モニターで観察など）が必要で、**病状が不安定**な患者さんをお受け入れる病床です。
発症後おおよそ**14日間を目安**として、集中的に治療を行います。

例えば…

脳梗塞・肺炎・下血・骨折など
（手術は整形外科のみ対応）



地域包括ケア病床（62床）

- 急性期治療を終了し、直ぐに自宅や施設へ退院するには**不安**のある方
- 慢性疾患**（定期的に通院治療している病気）が**悪化**し入院が必要な方
- 寝たきりで、**在宅介護**をしている患者さんの定期的な検査や、一定の入院期間で（入院期間は、60日が限度）**在宅復帰**に向けた治療や看護、**リハビリ**を行なうことを目的とした病床です。

例えば…

- 急性期の治療（骨折・各手術・肺炎等）後も退院を目指したリハビリテーションが必要な方や、もう少し経過観察が必要になる方
- 食欲不振や脱水、腰痛・腹痛など、安静加療のための入院
- 在宅復帰に向けて介護サービス等の準備が必要な方
- 医療行為が必要で、介護施設でのショートステイを利用できない方

療養病棟（37床）

病状は安定しているものの、**医療的な処置**があるために、自宅や施設で生活することが困難な方や**長期間**にわたって病院での**療養**を必要とする患者さんをお受け入れる病床です。

例えば…

- 食事が摂れず24時間点滴を行っている方
- 継続した酸素療法が必要な方
- 褥瘡があり処置が必要な方

